

ニューズレター No.69

発行人 寺田 貢

2014(平成 26)年 9 月 5 日発行

日本リメディアル教育学会、ニューズレターNo.69 をお届けいたします。今回は、

- (1) 第 10 回全国大会開催報告
 - (2) 理事会開催報告
 - (3) 総会開催報告
 - (4) 2014(平成 26)年度予算書の修正
 - (5) 第 4 回中国・四国支部会支部大会(2014 年度)
- についてお知らせいたします。

第 10 回全国大会開催報告

第 10 回全国大会は、「リメディアル教育から新たな学びへ」を大会テーマとし、2014 年 8 月 20 日～23 日に東京電機大学東京千住キャンパスで開催されました。

会場に集った 357 人の参加者が各会場に分れ、熱心な討論を交わしました。また、賛助会員の企業出展は 24 社におよびました。

大会初日の 8 月 20 日には部会企画として、日本語部会と学習言語部会のラウンドテーブル「大学までの教育と論理的思考力・日本語力」、理数系部会のシンポジウム「リメディアル授業の実践と課題、解決への手探り」、特別学修支援部会のラウンドテーブル「発達障がいをもつ学生への学習(修)支援」、英語部会のシンポジウム「英語学習に対する学習者負担軽減のための方策」が開催されました。夕刻には賛助会員の皆様と理事・会員とでウェルカムパーティーが行われ、相互の交流が深まりました。



基調講演の様相

8 月 21 日には東京大学の市川伸一先生による基調講演「認知理論を教育実践に生かす」が行われ、300 人を超える聴衆が集まりました。昼休みを挟み、引き続き市川先生によるワークショップ「三面騷議法による授業検討会の体験」が行われました。翌日の 22 日と合わせ 54 件の一般発表と 12 件のポスター発表が行われました。情報交換会には、多数の参加者が集いました。展示企業からも大勢ご参加いただき、相互の懇親を深めることができました。



情報交換会の模様

最終日の 8 月 22 日には、聖学院大学学長の姜尚中先生による記念講演「いま若者のために大学ができること」が行われ、多数の聴衆に向け、大学教育の展望が語られました。また、大会の締めくくりとして、記念シンポジウム「リメディアル教育から新たな学びへ」では、ファウンダの小野 博先生(福岡大学)、赤堀侃司先生(白鷗大学)、馬場眞知子先生(東京農工大学)にご講演いただき、パネルディスカッションが行われました。

最後に、素晴らしい会場をご提供くださった東京電機大学様および本大会の開催にご協力くださいました多くの方々に御礼申し上げます。

理事会開催報告

8 月 20 日に理事会(第 17 回理事会)が東京電機大学東京千住キャンパス 2603 教室にて開催されました。

【審議・協議事項】

1. 会長・業務執行理事の業務報告

会長、全国大会実行委員長、編集委員長、将来計画検討委員長、全国大会企画委員長から前回の理事会以降の業務について報告がありました。

2. 2013 年度事業報告(案)、2014 年度事業計画(案)

会長から、事業報告と決算について、別紙のように報告され、審議の結果、承認されました。

3. 2013 年度決算(案)、2014 年度予算(案)

会長から、事業計画と予算について、別紙のように報告され、審議の結果、承認されました。

4. JADE-WG 提案-会則の改訂案・細則制定案

ワーキンググループから会則の改訂および細則の制定が提案され、審議の結果、継続審議事項とし、次回の理事会で議決することとしました。

5. 会則の細則(案)

会長から会則を補足する細則案が提案され、審議の結果、継続審議事項とし、次回の理事会で議決することとしました。

6. 2014(平成 26)年度定期総会次第(案)

会長から定期総会の次第が提案され、審議の結果、一部改訂し、8 月 21 日の総会での次第とすることとしました。

7. 役員選挙スケジュール(案)

会長から、2015 年度-2016 年度の役員選挙の実施日程が提案され、次回の理事会で、選挙管理委員会と推薦者名簿作成委員会を設置することとしました。

8. その他

その他の事項として、1)後援・協賛・共催および情報提供用メーリングリスト送信の基準、2)学会名称の検討、3)顕彰制度の確立、4)負債を負った退会となる会員、5)支部会の活性化、6)事業年度と「期」および理事会回番号、7)委員会ポータル活用の活用、8)出版物の提案について審議し、1), 4) および 7)については承認され、2), 3), 5) および 8)については検討事項として、6)については継続審議事項とすることとしました。

【報告事項】

1. 金田前編集委員長への感謝状

長期間にわたり会誌の編集・発行にご尽力いただいた金田前編集委員長(現 顧問)に感謝状を贈呈することとしました。

2. 支部大会開催予定

10 月 25 日(土)に中国・四国支部会支部大会、12 月 13 日(土)に九州・沖縄支部会支部大会を開催することが、それぞれの支部長から報告されました。

3. その他

総会開催報告

総会では、以下の点について、それぞれ報告または審議が行われました。会長が議長と議事進行を務めました。定足数の確認に続き、以下の事項が審議および報告されました。

【審議事項】

1. 事務局業務の委託

2014 年 1 月 6 日から事務局業務を(株)国際文献社に委託していることについて報告され、審議の結果、承認されました。

2. 2013(平成 25)年度決算

別紙に従い、2013 年度の決算について説明され、総会出席者により承認されました。

3. 2014(平成 26)年度事業計画・収支予算

別紙に従い、2014 年度の事業計画と予算について報告され、総会出席者により承認されました。

【報告事項】

1. 2013(平成 25)年度事業報告

別紙に従い、2013 年度の事業について報告されました。

2. 会則の改訂と細則の制定の検討

理事会で会則の改訂と会則を補足する細則の制定を検討していることが報告されました。

2014(平成 26)年度予算書の修正

別紙の 2014(平成 26)年度予算書について、部分的な項目の入れ替えが必要な箇所が生じました。次回の理事会で確認し、次回の総会で、この点を説明させていただき、ご承認をお願いしたいと考えています。さらに、修正した予算書に基づいた決算結果についてご承認いただきたいと考えております。ご了承くださいませようお願いいたします。

第4回中国・四国支部会支部大会(2014年度)

中国・四国支部会(鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知)の第4回大会(2014年度)を下記のように開催します。

中国・四国支部会の会員の大会ですが、学会の会員はどなたでも参加できます。また、会員でない方も発表・参加ができます。なお、参加費の徴収はありません。

1. 日時:2014年10月25日(土)13時30分~17時15分(大会後、情報交換会あり)

2. 参加申込方法

個人研究発表の募集

- ・申込み締切り:9月23日(火)
- ・採択結果の通知:9月30日(火)
- ・予稿原稿 締切り:10月14日(火)

一般参加者の参加受付

- ・申込み締切:10月20日(火)
- ・情報交換会:当日、参加費(4,000円)を受付でお支払いください。

いずれも、以下の JADE web ページ掲載のリンクからお申込みください。

<http://www.jade-web.org/jade/branch/chuugokushikoku.html>

3. 会場:島根大学松江キャンパス 島根県松江市西川津町1060

4. アクセス:JR 松江駅から

市営バス 北循環線内回り 島根大学前下車(所要時間約15分)

市営バス 島根大学・川津行、一畑バス 美保関ターミナル、マリンゲートしまね行 島根大学前下車(所要時間約20分)

5. 内容:

(1) 個人研究発表(1件 20分[発表 15分+質疑 5分])

(2) ワークショップ:論文誌への投稿のススメ

(3) 中国・四国支部会総会

(4) 情報交換会

6. プログラム(予定;研究発表の件数により多少変更の可能性あり)

13:00~13:30 受付

13:30~13:45 開会行事

13:50~15:30 研究発表

15:45~17:00 ワークショップ:論文誌への投稿のススメ

17:00~17:15 中国・四国支部会総会

17:30~19:30 情報交換会

会誌への論文等の投稿について

会誌『リメディアル教育研究』では、リメディアル教育に関する研究、教材や教授法の開発と評価、実践の報告などについての原稿を募集します。投稿は本会の会員が筆頭者であるものに限り(編集委員会が特に認めた場合は、非会員からの論文等を掲載することもあります)。掲載の採否は、査読審査を経たのち、編集委員会において決定します。原稿料の支払い、掲載料の徴収はいたしません。

原稿執筆要項などの改変

原稿表紙、割付見本(執筆要項)などの投稿に必要なファイルが、2011年9月13日から変更されております。さらに、掲載に至らせる原稿内容を作成するための一助として、原稿執筆ガイドラインを用意いたしましたので、ご一読いただければ幸いです。

詳しくは、<http://www.jade-web.org/jade/journal/journal.html> をご覧ください。

【文責】寺田 貢

日本リメディアル教育学会 2013（平成 25）年度事業報告書
（2012 年 4 月 1 日～2013 年 3 月 31 日）

I. 事業活動

1. 学術集会等の開催（会則第 3 条第 1 号、第 4 号）
 - (1) 第 9 回全国大会
2013 年 8 月 29 日～30 日、広島修道大学において開催した。（参加者 312 名）
 - (2) 第 3 回関東・甲信支部会 支部大会
2013 年 12 月 7 日に日本橋学館大学において開催した。（参加者 56 名）
 - (3) 第 6 回関西支部会 支部大会
2014 年 3 月 24 日に関西外語大学において開催した。
2. 学術雑誌等の発行又は公表（会則第 3 条第 2 号、第 4 号）
 - (1) 学会誌『リメディアル教育研究』
第 8 巻第 1 号（発行日 2013 年 3 月 31 日）と第 8 巻第 2 号（発行日 2013 年 9 月 30 日）を発行し、会員に発送した。
 - (2) ニュースレター
No.60～No.66 を発行した。
3. 国内外の関連学術団体との連携及び協力（会則第 3 条第 3 号、第 4 号）
 - (1) The National Association for Developmental Education (NADE)との連携
酒井志延会員が、NADE の Official publication である *Journal of Developmental Education* の編集委員を委嘱されている。
 - (2) NII の電子図書館事業への参加
NII 論文情報ナビゲータによる会誌の電子ジャーナル化を進め、第 1 巻から第 7 巻第 1 号まで公開されている。
 - (3) 教育学関連学会連絡協議会への参加
中園篤典監事が、学会を代表して総会・シンポジウム(2014 年 3 月 15 日、筑波大学茗荷谷校舎)に参加した。
4. その他本会の目的を達成するために必要な事業（会則第 3 条第 5 号）
 - (1) 学会事務局の移転
2014 年 1 月 6 日から(株)国際文献社に委託し事務局業務を開始した。新組織に対応するため、学会事務局として書記・庶務・経理の各担当を設け、数名の事務局補佐を置くこととした。
 - (2) 学会ホームページ機能の充実
マイページの公開により、会員検索等の会員名簿機能を Web 上で実現した。
 - (3) 専門部会の設置
2013 年 8 月 29 日、学校教育部会・特別学習支援部会・学習言語部会を設置した。

II. 総会、理事会の開催状況

1. 総会

(1) 定時総会

2013年8月29日、広島修道大学において開催した。

2. 理事会

(1) 理事会（第11回）

2013年8月28日、広島修道大学において開催した。

(2) 理事会（第12回）

2013年8月29日、広島修道大学において開催した。

(3) 理事会（第13回）

2013年8月29日、広島修道大学において開催した。

(4) 理事会（第14回）

2013年10月13日、大阪YMCA国際文化センターにおいて開催した。

(5) 理事会（第15回）

2013年12月7日、日本橋学館大学において開催した。

(6) 理事会（第16回）

2014年3月24日、関西外語大学において開催した。

III. 会員の状況

1. 2013年度の会員数

- (1) 正会員 644名
- (2) 大学会員 30団体
- (3) 賛助会員 39団体

2. 2013年度の会員異動

	前期末会員数	当期入会数	当期退会数	当期末会員数
正会員	565名	79名	18名	627名
大学会員	26団体	4団体	0団体	30団体
賛助会員	36団体	3団体	2団体	37団体

IV. 規程等

- 1. 規程の制定および改正はなかった。

以上

日本リメディアル教育学会 2014（平成 26）年度事業計画
（2014 年 4 月 1 日～2015 年 3 月 31 日）

I. 事業活動

1. 学術集会等の開催（会則第 3 条第 1 号、第 4 号）
 - (1) 第 10 回全国大会
2014 年 8 月 20 日～22 日、東京電機大学において開催する。
 - (2) 支部大会
各支部会の主催により必要に応じて開催する。
 - (3) 専門部会
各専門部会の主催により必要に応じて開催する。
2. 学術雑誌等の発行又は公表（会則第 3 条第 2 号、第 4 号）
 - (1) 会誌「リメディアル教育研究」
第 9 巻第 1 号と第 9 巻第 2 号を発行する。
 - (2) ニュースレター
学会の動向について、会員に情報提供するため、必要に応じて発行する。
3. 国内外の関連学術団体との連携及び協力（会則第 3 条第 3 号、第 4 号）
 - (1) The National Association for Developmental Education (NADE)との連携
酒井志延会員が、NADE の編集委員会の委員に委嘱されている。
 - (2) NII の電子図書館事業への参加
NII 論文情報ナビゲータによる会誌の電子ジャーナル化を進める。
 - (3) 教育学関連学会連絡協議会への参加
4. その他本会の目的を達成するために必要な事業（会則第 3 条第 5 号）
 - (1) 他団体と協調した活動の推進
類似した分野を研究する学会などの他団体とのコラボレーションを推進する。
 - (2) 学会名の検討
学会の運営に則した適切な学会名について検討する。
 - (3) 会則の検討
学会の運営と会則に条文との整合性を検討し、必要に応じて部分的な変更や細則の制定を行う。
 - (4) 役員候補者選出選挙の準備
2013-2014 年度(第 5 期)役員の任期満了に伴う、2015-2016 年度(第 6 期)役員選挙のため、選挙管理委員会と推薦者名簿作成委員会を設置する。

以上

	予算			決算			差額	備考
	数量	単価	合計	数量	単価	合計		
前期繰越 (A)			7,960,598					
I. 収入の部								
1. 会費収入								
正会員	600	4,000	2,400,000	551	4,000	2,204,000	▲ 196,000	
大学会員	30	10,000	300,000	29	10,000	290,000	▲ 10,000	
賛助会員	40	30,000	1,200,000	20	30,000	600,000	▲ 600,000	
(小計)			3,900,000			3,094,000	▲ 806,000	
2. 事業収入								
印税収入			200,000		45,300	453,000	253,000	
学会誌収入								
会員	20	1,000	20,000	16	1,000	16,000	▲ 4,000	
非会員	10	2,000	20,000	6	2,000	12,000	▲ 8,000	
(小計)			240,000			481,000	241,000	
3. 補助金等収入								
寄付金			0			0	0	
(小計)			0			0	0	
4. 雑収入								
利息			500			826	326	
雑収入						300,675	300,675	全国大会、支部大会の清算金などの収入：予算書にない項目
(小計)			500			301,501	301,001	
収入合計 (B)			4,140,500			3,876,501	▲ 263,999	
II. 支出の部								
1. 事業費								
全国大会準備費								
第10回全国大会分	1	200,000	200,000	0	200,000	0	▲ 200,000	
地方支部大会開催費補助	7	30,000	210,000	2	30,000	60,000	▲ 150,000	
委員会運営費			500,000			320,156	▲ 179,844	
専門部会運営費			500,000			8,500	▲ 491,500	
事務局活動費			500,000			293,903	▲ 206,097	
学会誌印刷発送								
第8巻第1号			600,000			850,510	250,510	
第8巻第2号			600,000			566,790	▲ 33,210	
学会パンフレット印刷	3,000	40	120,000					
(小計)			3,230,000			2,099,859	▲ 1,130,141	
2. 一般管理費								
通信費			150,000			225,384	75,384	
理事会会議費			100,000			69,100	▲ 30,900	
事務用品			400,000			86,657	▲ 313,343	
会員名簿管理等人件費	12	50,000	600,000			450,000	▲ 150,000	理事報酬
ドメイン取得管理			2,115			2,115	0	
サーバ管理費			150,000			112,500	▲ 37,500	理事報酬
雑費			10,000			11,148	1,148	
(小計)			1,412,115			956,904	▲ 455,211	
3. 予備費								
予備費			1,000,000			1,092,834	92,834	事務局の委託費、理事会開催費などの支出
(小計)			1,000,000			1,092,834	92,834	
支出合計 (C)			5,642,115			4,149,597	▲ 1,492,518	
収支 (B) - (C)			▲ 1,501,615			▲ 273,096	1,228,519	
III. 寄付金の部								新設：予算書にない項目
寄付金口座残高						3,001,007	3,001,007	
寄付金合計 (D)						3,001,007	3,001,007	
次期繰越 (A) + (B) - (C) - (D)			6,458,983			4,686,495		

本決算書の監査を実施した結果、適正であることを認めます。

平成26年8月5日

監事

小園 和剛



監事

中園 篤典



	予算		合計	備考
	数量	単価		
寄付金口座残高			3,001,007	
前期繰越(A)			4,708,631	
I. 収入の部				
1. 会費収入				
正会員	600	4,000	2,400,000	
大学会員	30	10,000	300,000	
賛助会員	40	30,000	1,200,000	
(小計)			3,900,000	
2. 事業収入				
印税収入			200,000	
学会誌収入				
会員	20	1,000	20,000	
非会員	10	2,000	20,000	
(小計)			240,000	
3. 全国大会収入				
参加費			1,990,000	第10回全国大会予算(4000*200+5000*50+5000*80+6000*80+2000*30)
予稿集販売	2	1,000	2,000	第10回全国大会予算
賛助会員出展費	20	30,000	600,000	第10回全国大会予算
広告費	14	10,000	140,000	第10回全国大会予算
(小計)			2,732,000	
4. 支部会支部大会収入				
開催費用の返却	7	30,000	210,000	
余剰金	7	10,000	70,000	
(小計)			280,000	
4. 雑収入				
利息			500	
(小計)			500	
収入合計(B)			7,152,500	
II. 支出の部				
1. 事業費				
全国大会運営費				
予稿集作成			582,228	国際文献社見積額
参加証兼領収証作成			84,240	国際文献社見積額
企業展示管理			16,200	国際文献社見積額
ヘルプデスク			60,000	国際文献社見積額
講演料			100,000	第10回全国大会予算
会場費			815,540	第10回全国大会予算・会場費+プロジェクタ+会議室+ポスターボード(20枚)
運営費			475,000	第10回全国大会予算・アルバイト代+飲料茶菓子+運営委員経費+交通費
消耗品・事務費			30,000	第10回全国大会予算
会議費	100	700	70,000	第10回全国大会予算
雑費			31,360	第10回全国大会予算
支部会支部大会開催費用	7	30,000	210,000	
委員会運営費			500,000	
専門部会運営費			500,000	
事務局活動費			100,000	
学会誌印刷				
第9巻第1号			600,000	エイコープリント:カメラレディ入稿
第9巻第2号			877,230	国際文献社見積額:版組+印刷
(小計)			5,051,798	
2. 事務局経費				
事務局委託費				
会員業務委託費			665,366	国際文献社見積額
学会誌等の発送関連業務			198,793	国際文献社見積額
会計業務委託費			250,560	国際文献社見積額
学会ホームページ			194,400	国際文献社見積額
理事会会議費			0	
全国大会関係委託費				
事務委託基本料			54,000	国際文献社見積額
発表参加申込システム			259,200	国際文献社見積額
大会ホームページ			64,800	国際文献社見積額
会誌関係委託費				
投稿システム利用料			194,400	国際文献社見積額
投稿システム準備費用			378,000	国際文献社見積額:今年度のみで来年度から不要
雑費			30,000	振込手数料等
(小計)			2,289,520	
予備費				
(小計)			0	
支出合計(C)			7,341,318	
収支(B)-(C)			▲188,818	
次期繰越(A)+(B)-(C)			4,519,813	